

はいたづつう トンプク

医薬品



TRADE MARK



鯉膾丸本舗

製造発売元

株式会社 きぬや薬舗

奈良県御所市今住475

お問い合わせ先 同上 電話0745-67-0016

はいたづつうトンプク

【効能・効果】

- (1)頭痛、歯痛、発熱後の疼痛、関節痛、耳痛、関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛、肩こり痛、打撲痛、骨折痛、ねんざ痛、月経痛(生理痛)、外傷痛の鎮痛
(2)寒熱、発熱時の解熱

【用法・用量】

成人(15歳以上)……1回1包 15歳未満は服用しないこと
(一日一回を限度としなるべく空腹時をさせて服用して下さい)

用法・用量に関する注意

用法・用量を厳守すること

成分・分量 本品1日量 (1包1,000mg) 中

アセトアミノフェン……200mg

無水カフェイン……90mg

アスピリン……500mg

クイヒネ……40mg

使用上の注意

【してはいけないこと】 (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

- 次の人は服用しないこと。
(1)本剤による過敏症状(発疹、発赤、かゆみ、浮腫等)を起こしたことがある人。
(2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと。
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、薬物酔い薬。
- 服用時は飲酒しないこと。
- 長期連用しないこと。

相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること。
(1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。
(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。授乳中の人。
(3)高齢者。
(4)本人又は家族がアレルギー体質の人。
(5)薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(6)次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病、腎・十二指腸潰瘍
- 次の服用法は、直ちに服用を中止し、この製品を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること。
(1)服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮膚	発疹、発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

まれに上記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症 状 の 名 称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸痛しき等とともに、顔色が蒼白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、意識しき等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる。
ぜんそく	

- (2) 5〜6回服用しても症状がよくならない場合
【保管及び取り扱い上の注意】
(1)直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に保管すること。
(2)小児の手が届かない所に保管すること。
(3)他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
(4)1包を分割した残りを服用する場合は、袋の折り口を折り返して保管し、2日以内に服用して下さい。
(5)配置期限を過ぎた製品は服用しないで下さい。

2包(1.0g×2)入 ￥200